

「医師として人の役に立ちたい」

「人間形成と大学進学」を教育目標とし、広い視野、判断力、問題解決力などを兼ね備えた人間育成に取り組む城北中学校高等学校。例年、医学部医学科への進学者も多く、今春も国公立大・私大合わせて55名が合格を果たした。今回は順天堂大学医学部医学科で学びながらマジン янとしても活躍する山里レオさんが母校を訪ね、かつて担任でもあった校長の小保力先生と語り合った。

クラス最下位の成績から医学部合格へ！

実際に入学してみると、「束縛せず、かといって放置はしない」「自由と規律のバランスが良い学校」だと思いました。やる気のある生徒にはとてもいねいに指導してくれて、勉強以外のやりたいことにも応援してくれる。自分の好きなことに全力で取り組めるのが城北の魅力です。

私は今、医学生として大学生活を送るかたわら、プロのマジシャンとしても活動していますが、高校で奇術同好会(マジッククラブ)を立ち上げたことが活動の原点となっています。中学でマジックに魅了され、高1で先輩や同級生と共に活動実績



自分の将来を考える会(講演会／中3・高1対象)

自由と規律のバランスが良くやりたいことができた6年間

を積み上げ、先生に頼み込んで顧問を引き受けでもういました。強引にお願いしたにもかかわらず、熱心に面倒を見ていただきました。卒業後も同好会が継続していることをとてもうれしく思っています。

小俣 どうして医師をめざそうと思ったのですか。

山里 最初に医学部を意識したのは高校1年のとき。「人の役に立つ仕事がしたい」と思ったのがきっかけです。そうはいつても医学部は難関です。私は勉強が苦手で、中一時の成績はクラスで最下位でした。その後、成績は徐々に上がりましたが、高1で平均をようやく超える程度。恥ずかしくて「医学部志望」となかなか周囲に言えませんでした。

小俣 自分に合った勉強法を見つけたのはよかったです。そんな時間を過ごした城北は、山里くんにとつてどんな場所でしたか。

実際に入学してみると、「束縛せらず、かといって放置はしない」「自由と規律のバランスが良い学校」だと思いました。やる気のある生徒にはとてもていねいに指導してくれて、勉強以外のやりたいことにも応援してくれる。自分の好きなことに全力で取り組めるのが城北の魅力です。

小俣　自分に合った勉強法を見つけたのはよかったです。そんな時間を過ごした城北は、山里くんにとってどんな場所でしたか。

山里　「やりたいことを応援してくれる場所」です。もし他校に進んでいたら、こんなにやりたことを自由にできなかつたのではないかと思っています。

小俣　卒業生に同じ質問をしても「自由」「めりはり」「チャンスをつかめる」といったキーワードがたくさん出てきます。やはりそれが本校の校風ですね。これから の目標を聞かせてください。

山里　卒業後は医師として、できれば臨床と研究の両方をやりたいと思っています。そして、まだ治療法が確立されていません。いような難病を治せる医師になりたい。とても大きな夢ですが、ぜひ叶えたいと思っています。その一方で、マジックにも力を入れています。

基礎の反復学習で 医学部受験へラストスパート

大会に出場したものの、残念ながら入賞を逃したので、次こそは世界大会へ出場したいと思っています。



山里レオさん(左)と小俣力校長

のよう勉強しましたか。

山里 それからは、各教科の先生方のアドバイスを受けながら、とにかく基礎をやり直しました。どんな教科でも、基礎からう